

貸出金の状況

貸出金残高

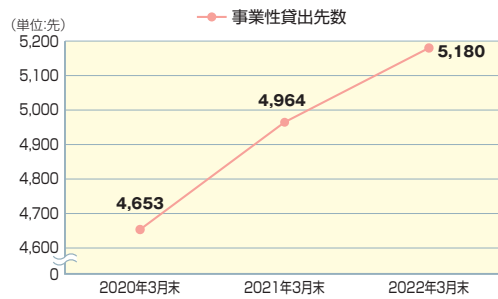
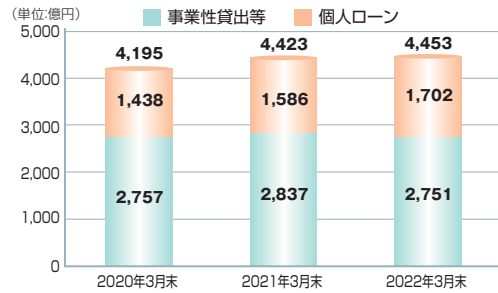
4,453億円

貸出金は、個人のお客さま向け住宅融資が堅調であったことから、期末残高は前期比0.69%増加の4,453億円と9期連続で増加しました。

事業性貸出先数

5,180先

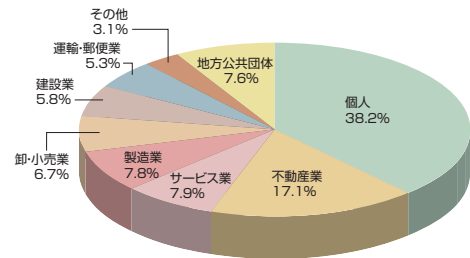
事業性貸出先数は、ビジネス情報の提供や本業支援に積極的に取組むなど、経営上の課題解決に繋がる活動を通して新規のお客さまとの接点を強化した結果、年間216先増加の5,180先となりました。



※事業性貸出先には、地方公共団体、金融機関向け貸出を含んでいません。

貸出金業種別残高構成比

地域貢献のバロメーターである貸出金の92.3%は、個人やさまざまな業種の中小企業をはじめとした地域のお客様に幅広くご利用いただいています。

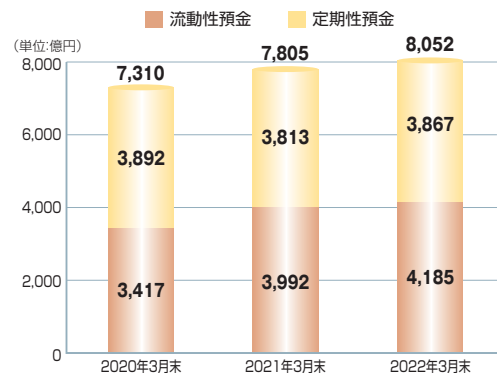


預金積金の状況

預金積金残高

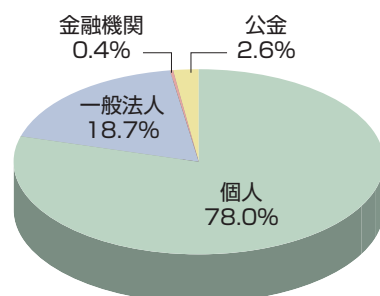
8,052億円

預金積金は、給与・年金振込や口座振替など、基盤取引の推進に取組むとともに、非対面チャネルの拡充に努めた結果、期末残高は前期比3.16%増加の8,052億円と5期連続で増加しました。



預金者別預金残高構成比

地域のお客さまからの信頼・信用のバロメーターである個人預金の総預金に占める割合は78.0%となっています。地域金融機関として、地域の個人のお客さまを中心とした預金業務を行っています。

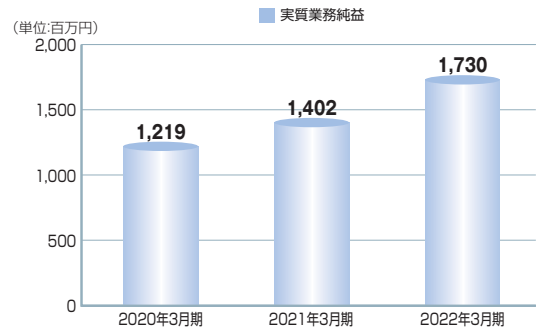


損益の状況

実質業務純益

17 億円

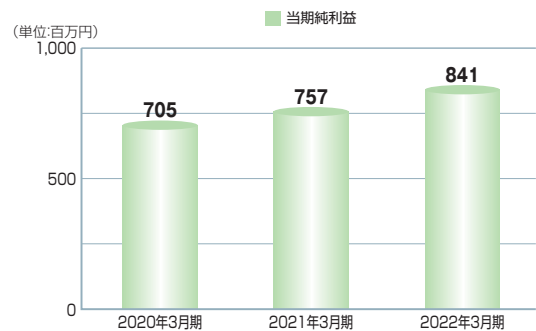
本業の利益を示す実質業務純益は、安定的な収益確保に向けた有価証券ポートフォリオの改善に取組み、有価証券利息配当金が増加したことで、前期比23.42%増加の17億30百万円となりました。



当期純利益

8 億円

当期純利益は、前期比11.21%増加の8億41百万円となりました。



自己資本の状況

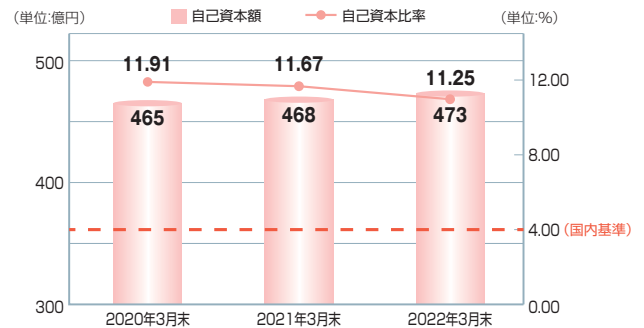
自己資本比率

11.25%

自己資本額

473 億円

自己資本額は前期比1.04%増加の473億円となりました。一方、リスク・アセット等が前期比4.84%増加したため、自己資本比率は前期比0.42ポイント低下し、11.25%となりました。国内業務のみを行う金融機関に必要とされる基準4%（規制値）を大幅に上回っており、健全性に問題はありません。



不良債権の状況（金融再生法ベース）

不良債権比率

4.36%

不良債権額

194 億円

事業再生先への金融支援に取組んできた結果、不良債権額は前期比11億円増加の194億円、不良債権比率は前期比0.23ポイント増加の4.36%となりました。

なお、不良債権には、担保や貸倒引当金等により適切に保全が図られており、備えは万全です。

